

令和4年度(2022年度)第2回函館市地域包括支援センター運営協議会 会議録

- **開催日時** 令和4年(2022年)11月15日(火) 18:30~20:00
- **開催場所** 函館市役所8階 大会議室
- **会議内容**
 - 1 開会
 - 2 議事
 - (1) 地域密着型サービスの運営に関する事項
 - ア 地域密着型サービス事業者の指定等について・・・・・・・・・・資料1
 - (2) 地域包括支援センターの運営に関する事項
 - ア 第1号介護予防支援事業および指定介護予防支援の業務の一部を委託できる指定居宅介護支援事業所の選定について・・・・・・・・資料2
 - イ 令和3年度(2021年度)函館市地域包括支援センター収支決算について・・・・・・・・・・資料3
 - ウ 函館市地域包括支援センター事業評価(市評価)について・・・・資料4
参考資料1
参考資料2
 - エ 函館市地域包括支援センター活動実践報告
 - ① 主任介護支援専門員部会・・・・・・・・・・資料5
 - ② 保健師・看護師部会・・・・・・・・・・資料6
 - 3 その他
 - 自立相談支援機関の相談件数について・・・・・・・・・・資料7
 - 4 閉会
- **出席委員**(10名)
齋藤征人会長, 船橋優子副会長, 川村曜補委員, 二本柳美夏委員, 渡部良仁委員, 工藤晃士委員, 柏原美之委員, 張磨仁委員, 村田亮二委員, 高森秀雄委員
- **欠席委員**(1名)
後藤琢委員
- **地域包括支援センター**
あさひ 四戸管理責任者, こん中央 福島管理責任者, ときとう 長谷山管理責任者, ゆのかわ 佐々木管理責任者, たかおか 松野管理責任者, 西堀 吉田管理責任者, 亀田 常野管理責任者, 神山 酒井管理責任者, よろこび 澁谷管理責任者, 社協 高田管理責任者
- **傍 聴** 6名
- **報道機関** 1名(函館新聞社)
- **事務局**
(指導監査課) 青木主査
(地域包括ケア推進課) 支援体制: 小棚木課長, 岩島主査, 石黒主任, 山下主任技師
福祉拠点担当: 伊藤課長, 山岸主査
- **会議要旨**
※の記載がある議事については, 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として会議時間を短縮するため, 事務局からの説明を一部省略した。

1 開会

2 議事

(1) 地域密着型サービスの運営に関する事項

ア 地域密着型サービス事業者の指定等について (※)

齋藤会長

地域密着型サービス事業者の指定等について、特に説明すべき事項があれば事務局から説明願いたい。

青木主査

(資料1「地域密着型サービス事業者の指定等について」に基づき説明)

齋藤会長

事務局の説明および資料1について、意見・質問等はないか。特にないようなので、協議会として意見がないということで、次にまいるたい。

(2) 地域包括支援センターの運営に関する事項

ア 第1号介護予防支援事業および指定介護予防支援の業務の一部を委託できる指定居宅介護支援事業所の選定について (※)

齋藤会長

第1号介護予防支援事業および指定介護予防支援の業務の一部を委託できる指定居宅介護支援事業所の選定について、特に説明すべき事項があれば事務局から説明願いたい。

岩島主査

資料に記載のとおりであり、特に説明すべき事項はない。

齋藤会長

資料2について、意見・質問等はないか。特にないようなので、協議会として意見がないということで、次にまいるたい。

イ 令和3年度(2021年度)函館市地域包括支援センター収支決算について (※)

齋藤会長

令和3年度(2021年度)函館市地域包括支援センター収支決算について、特に説明すべき事項があれば事務局から説明願いたい。

石黒主任

(資料3「令和3年度函館市地域包括支援センター収支決算について」に基づき説明)

齋藤会長

事務局の説明および資料3について、意見・質問等はないか。特にないようなので、協議会として意見がないということで、次にまいるたい。

ウ 函館市地域包括支援センター事業評価について

齋藤会長

函館市地域包括支援センター事業評価について、事務局から説明願いたい。

岩島主査

(資料4「函館市地域包括支援センター事業評価(市評価)について」に基づき説明)

齋藤会長

事務局の説明および資料4について、意見・質問等はないか。

齋藤会長

「4 評価の範囲」で、今年度から始まった自立相談支援機関部門についての評価は含まない訳だが、別途評価等をこれから考えていくことになるのか。

福祉拠点担当 伊藤課長

自立相談支援業務が所管している法制度が違っている所もあり、どのように評価していくのが良いかは協議している所である。皆様にご意見をいただくこともあるかと思う。

齋藤会長

この内容の中には含まないと思うが、函館市独自の取り組みであり、どこかで客観的な評価をするべきタイミングが来るかと思ってお聞きした。

齋藤会長

他に意見・質問等はないか。協議会として他の意見がないようなので、次にまいるたい。

エ 函館市地域包括支援センター活動実践報告

① 主任介護支援専門員部会

齋藤会長

函館市地域包括支援センター活動実践報告①について、主任介護支援専門員部会から説明願いたい。

主任介護支援専門員部会長 有田氏

(資料5「自立支援型地域ケア会議～設置までの検討過程と今後の課題～」に基づき説明)

齋藤会長

ただいまの報告について、意見・質問等はないか。工藤委員いかがか。

工藤委員

セラピストの方々が、本人に会わない中で情報をいただいてという事だと思うので、いただいた情報の中で、どの位対象の方に対し実効性のあるアドバイスができるのか、という所が少し気になる所ではあったが、今後モニタリングするということであり、モニタリングしていただきながら修正や対策を考えていただければと思う。また、令和5年度から居宅介護支

援事業所の事例を対象にするということで、実際に私達もデイサービスで介護支援専門員と連携を取らせていただいているが、デイサービスもそうだが、介護支援専門員に関しても個人差が大きい部分は実際の問題として感じる所もある。居宅介護支援事業所の介護支援専門員も、こういった会議を通じて色々学んでいただき、地域のためにプラスになる良い試みではないかと感じた。

齊藤会長

発表者からコメントがあればお願いしたい。

有田氏

1点目の事例理解については、実際に対象者本人を見ている訳ではない中、事前に資料を配付し、読み込んでいただいた上で、会議内では質疑応答の時間を設けており、新たな視点での気づきや効果的なものにつながることもある。事例展開に関しては、今後、助言者から対象理解のために必要な資料などのご意見があれば、引き続き部会の中で改善に向けて取り組んでいきたい。また、居宅介護支援事業所の介護支援専門員の事例を対象にしていくことについても、地域包括支援センターの主任介護支援専門員として、地域の介護支援専門員との連携やスキルアップを共に図っていくという観点からも取り組んでいきたいと思っている。

齊藤会長

その他、委員からご質問やコメントはないか。川村委員いかがか。

川村委員

連携室に市民から相談が来た場合、訪問し口腔内の状態や飲み込みを見るが、それだけではなく自宅内も見るので、ゴミ屋敷になっていたり、対象者をみている家族が精神疾患をもっているなど課題のある家庭があったりする。そのような環境にいると、口腔衛生が疎かになり、理学療法士や作業療法士の出番が先になるのは分かるが、口腔内はトラブルに気づきにくい所でもあるため、歯科医師会としても協力できることがあると思う。

齋藤会長

発表者からコメントがあればお願いしたい。

有田氏

この度、専門職に理学療法士、作業療法士、管理栄養士が出ている背景には、既存の函館市の「地域リハビリテーション活動支援事業」を活用している影響もある。どうしても、医療に関する専門職を参集するとなると報酬の面で課題を抱えるが、函館市の既存の事業を活用することで、報酬面の課題がクリアされた背景がある。この度、口腔衛生や歯科の面でもご協力をいただけるという言葉が大変有難く思っており、今後、部会の中で連携について前向きに考えたいと思う。

齋藤会長

内情は色々あると思うが、連携していける可能性を探っていただけたらと思う。主任介護支援専門員部会の報告については、ただ今出された意見を参考にさせていただきたい。

② 保健師・看護師部会

齋藤会長

では続いて、函館市地域包括支援センター活動実践報告②について、保健師・看護師部会から報告願いたい。

保健師・看護師部会長 村上氏，副部会長 佐藤氏，坂田氏

(当日配付資料6『いきいき生活手帳』の取り組み報告)に基づき説明)

齋藤会長

ただいまの報告について、意見・質問等はないか。柏原委員いかがか。

柏原委員

私も「いきいき生活手帳」を持ってみたいと思った。その人を定期的にフォローアップしていくようなしくみか。

坂田氏

手帳を作成する時には、進捗状況や目標の達成具合を追うべきか追わないべきかという話もあったが、まずは健康管理について意識を高めてもらい、計画を一緒に立てる時に声掛けが必要か伺い、希望のある方に対しては定期的に声掛けをしていく場合もある。ただ、すべての方に定期的な連絡はしておらず、あくまで本人の希望に沿いながら無理ない程度にやっていけたらと思っている。

柏原委員

フォローアップしてほしいという方は何人位いたのか。

坂田氏

2～3人程度だった。中には、「声を掛けてくれるんでしょ？掛けてくれるなら作りたい」という方もいるため、こちらから積極的に声を掛けていくかどうか検討していきたい。

齋藤会長

もちろんセルフマネジメントなので、自分達でやっていただくのが一番だと思うが、意外にフォローアップを希望する方が少ないと思った。

齋藤会長

二本柳委員いかがか。

二本柳委員

「いきいき生活手帳」はどこでもらえるのか。

坂田氏

地域包括支援センターにある。センターにご連絡いただけたら、担当する職員を決め、一緒に考えていきたいと思う。

齋藤会長

他にいかがか。高森委員いかがか。

高森委員

今回「いきいき生活手帳」を初めて知り、本当に素晴らしいと思った。先ほどの二本柳委員からの質問を私も思っていた。地域包括支援センターに取りに行くのか、届けてくれるのか。

坂田氏

面談という形をとらせていただきたい。訪問でも来所でも、ご都合に合わせて対応させていただく。

高森委員

これは、本人が記載し、その中身を把握して支援していただける方に報告し、何らかの支援をしていただくという流れでよいか。

坂田氏

本人が興味を持ち、自分自身の健康課題に気付き、そこで一緒に計画を立てていく流れになっている。

高森委員

本人に頑張ってもらおうということですね。このようにセルフマネジメントのツールがあると本人のやる気が出ると思った。

齋藤会長

良い取り組みなので、さらに数が増えるよう周知や啓蒙を続けていただけたらと思う。
それでは、保健師・看護師部会の報告については、ただ今出された意見を参考にさせていただきたい。

3 その他

齋藤会長

その他について、地域包括ケア推進課福祉拠点担当から報告があると伺っているので、説明願いたい。

福祉拠点担当 伊藤課長

(当日配付資料7「自立相談支援機関の相談件数について」に基づき説明)

齋藤会長

ただいまの説明および資料7について、意見・質問等はないか。特にないようなので、協議会として意見がないということで、次にまいりたい。

齋藤会長

その他、予定している内容以外で皆様から何かあるか。

事務局，委員，センター

特になし。

(閉会)